

様式第 2 号（省令第 60 条第 1 項第 3 号、第 4 号関係）（用紙 日本産業規格 A 4 縦型）

破砕業の事業計画書及び収支見積書

年 月 日 現在作成

- 1 事業の全体計画（業務を行う時間、従業員数、休業日、扱う車種（乗用車、大型車）を含む。）

(フロー概略図を添付)					
業務時間	: ~ :	従業員数	人	休業日	

- 2 解体自動車等の引取実績及び計画

年 度	年度実績 (3年前)	年度実績 (2年前)	年度実績 (1年前)	許可取得後 の年間計画
引取台数	台	台	台	台
主な引取先				

- 3 破砕実績

年 度	年度実績 (3年前)	年度実績 (2年前)	年度実績 (1年前)
年間処理実績	台	台	台
年間稼働日数	日	日	日
平均処理実績	台/日	台/日	台/日

4 破砕等能力

1日当処理能力	稼働予定日数	年間処理能力
台/日	日	台

5 保管の状況

解体自動車		A S R	
保管量の上限	台 (m ³)	保管量の上限	m ³
現在保管量	台 (m ³)	現在保管量	m ³

6 年間収支見積書

項 目		前年度 (年) (決算月(月))		今年度の見込み (決算月(月))	
		年度 (千円)	(1台当) (円)	年度 (千円)	(1台当) (円)
売上高 (全体)	ア (総売上収入)				
売上原価	イ (使用済自動車等購入費)				
その他の経費	ウ				
うち廃棄物処理委託費	エ				
営業利益	オ=ア-ウ				
営業外損益	カ (主に支払利息(注))				
経常利益	キ=オ+カ				
解体自動車等年間引取台数 (台)					
解体自動車等年間処理台数 (台)					

(参考)

	前年度末	現 在
負債総額 (年度末残高) (千円)		

- (注) 1 「1台当」額は、売上原価は引取台数で、その他は処理台数で割ること。
 2 使用済自動車等購入費は購入費はプラス、引取・処分料金を徴収した分はマイナスで計上すること。
 3 支払利息のみの場合又は支払利息が受取利息より多い場合はマイナスで計上すること。

4 破砕等能力

1日当処理能力	稼働予定日数	年間処理能力
100台/日	280日	28,000台

5 保管の状況

解体自動車		A S R	
保管量の上限	1,200台	保管量の上限	7,000 m ³
現在保管量	1,000台	現在保管量	22,000 m ³

6 年間収支見積書

項 目		前年度 (27年) (決算月(3月))		今年度の見込み (決算月(3月))	
		年度 (千円)	(1台当) (円)	年度 (千円)	(1台当) (円)
売上高(全体)	ア(総売上収入)	276,000	12,000	524,000	20,000
売上原価	イ(使用済自動車等購入費)	△120,000	△5,000	75,000	3,000
その他の経費	ウ	269,100	11,700	235,800	9,000
	エ(うち廃棄物処理委託費)	92,000	4,000	26,200	1,000
営業利益	オ=ア-イ-ウ	126,900	5,517	213,200	8,137
営業外損益	カ(主に支払利息(注))	△3,000	△130	△3,000	△115
経常利益	キ=オ+カ	123,900	5,387	210,200	8,023
解体自動車等年間引取台数(台)		24,000		25,000	
解体自動車等年間処理台数(台)		23,000		26,200	

(参考)

	前年度末	現 在
負債総額(年度末残高) (千円)	100,000	100,000

(注) 1 「1台当」額は、売上原価は引取台数で、その他は処理台数で割ること。

2 使用済自動車等購入費は購入費はプラス、引取・処分料金を徴収した分はマイナスで計上すること。

3 支払利息のみの場合又は支払利息が受取利息より多い場合はマイナスで計上すること。